



平成27年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 トラスト・テック

コード番号 2154 URL <http://www.trust-tech.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長CEO

(氏名) 小川毅彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 村井範之

TEL 03-5777-7727

四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日

配当支払開始予定日

平成27年3月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト、個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年6月期第2四半期の連結業績(平成26年7月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第2四半期	9,918	17.8	655	4.9	670	4.3	423	9.5
26年6月期第2四半期	8,420	12.7	624	99.3	643	80.0	386	85.0

(注)包括利益 27年6月期第2四半期 425百万円 (10.2%) 26年6月期第2四半期 385百万円 (86.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第2四半期	44.25	43.76
26年6月期第2四半期	40.66	40.54

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
27年6月期第2四半期	6,324		3,994		63.2	
26年6月期	6,455		3,832		59.4	

(参考)自己資本 27年6月期第2四半期 3,994百万円 26年6月期 3,832百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	20.00	—	30.00	50.00
27年6月期	—	25.00	—	—	—
27年6月期(予想)	—	—	—	35.00	60.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成26年6月期第2四半期末配当金20円00銭の内訳:普通配当金10円00銭記念配当金10円00銭(東証第二部市場変更記念配当)

平成26年6月期期末配当金30円00銭の内訳:普通配当金20円00銭記念配当金10円00銭(東証第一部銘柄指定記念配当)

3. 平成27年6月期の連結業績予想(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	24.7	1,780	37.8	1,800	36.5	1,080	35.4	112.99

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年6月期2Q	9,590,500 株	26年6月期	9,558,500 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年6月期2Q	42 株	26年6月期	42 株
----------	------	--------	------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年6月期2Q	9,575,969 株	26年6月期2Q	9,515,971 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予想に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成26年7月1日～平成26年12月31日）におけるわが国経済は、新興国の成長率の陰り、円安による輸入価格の上昇、消費税率引き上げ後の個人消費低迷などのマイナス要因があるものの、緩やかな回復基調が続く、企業収益の改善に伴う国内の設備投資意欲や雇用情勢が改善されました。

当社グループを取り巻く技術系及び製造系の人材サービスの環境においては、メーカーの人材ニーズが総じて高く、有効求人倍率は引き続き高い傾向にあり、採用環境の厳しさが続いております。これらの環境に対し、当社グループは、重点となる顧客と案件を定めて営業及び採用活動を効率的に行いました。

当第2四半期連結累計期間における売上高は9,918百万円（前年同期比17.8%増）、営業利益は655百万円（前年同期比4.9%増）、経常利益は670百万円（前年同期比4.3%増）、四半期純利益は423百万円（前年同期比9.5%増）となりました。なお、前年同期に比べ各利益率は低下しておりますが、これは期初に今後の業績の拡大の為に営業拠点の開設による営業・採用の体制強化、研修設備の拡充等を集中的に行い費用先行となったためであり、平成26年8月8日に開示いたしました連結業績予想の当第2四半期連結累計期間の利益率よりも若干向上しております。

セグメント別の業績の概要は、次のとおりです。

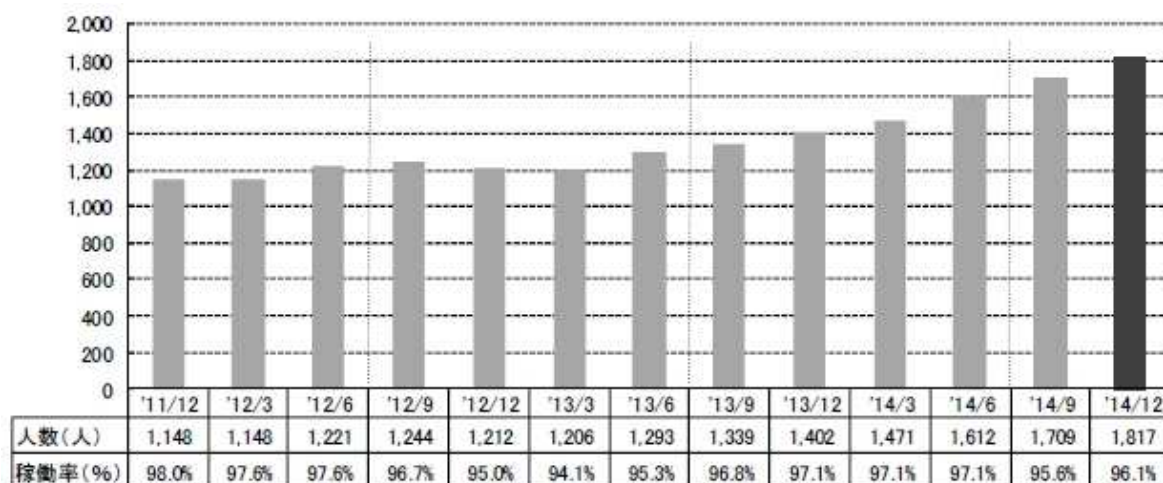
（技術者派遣・請負・委託事業：株式会社トラスト・テック、香港虎斯科技有限公司）

当セグメントは、研究開発、設計、生産技術などの技術分野に対する派遣・請負・委託の事業を領域としております。

当第2四半期連結累計期間においては、引き続き技術者のニーズは高く、なかでも輸送用機器関連企業の設計開発や生産技術や試験の分野、半導体製造装置メーカー等の生産設備関係の業務における人材ニーズは高い状況で推移いたしました。これらに対し当社は中途採用によるマッチングや派遣契約終了者の再配属を効果的にを行い、技術者の配属の増加を図りました。

平成26年12月末時点の当セグメントに従事する社員数は、第1四半期連結会計期間末から108名増員、前期末からは205名増員の1,817名（前年同期末比415名増）となりました。

また、稼働技術者の増加に伴い売上高は伸長し、増収増益となりました。当第2四半期連結累計期間における売上高は5,790百万円（前年同期比27.9%増）、セグメント利益は560百万円（前年同期比14.9%増）です。



※ 人数:月末技術者数 稼働率:月末日における「就業先がある技術者数」÷「技術者数」

なお、人数には当該セグメント売上計上分に対応したコンサルタント業務委託先の技術者数を含んでおります。

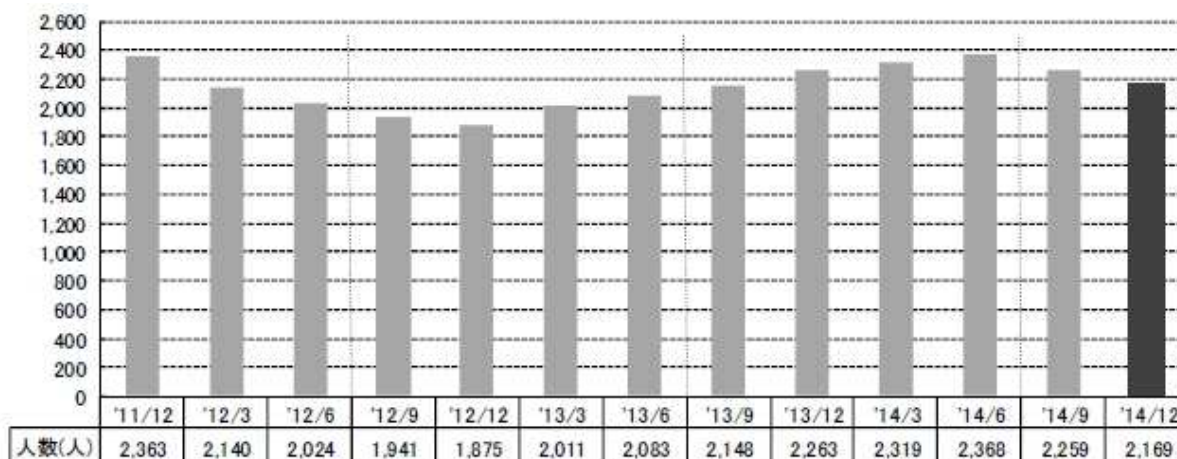
(製造請負・受託・派遣事業：株式会社T T M)

当セグメントは、顧客企業の製造工程等における請負・受託・派遣の事業を領域としております。

当第2四半期連結累計期間においては、電気機器関連、輸送用機器関連、建材・住宅関連を中心に配属を進めましたが、一部の大口顧客企業における減産や、派遣抵触日到来による契約終了の影響が当初想定よりも大きく、技能社員数は減少しました。

平成26年12月末時点の当セグメントに従事する社員数は、第1四半期連結会計期間末から90名減員、前期末からは199名減員の2,169名（前年同期末比94名減）となりました。

また、採用力の強化のために、求人媒体等の採用経費や技能社員の手当等を強化したことにより、前年同期に比べ利益率が低下いたしました。当第2四半期連結累計期間における売上高は4,096百万円（前年同期比6.0%増）、セグメント利益は108百万円（前年同期比25.2%減）となりました。



※ 人数：月末技能社員数 当セグメントは有期雇用契約が多数を占め稼働率は実質100%です。

(障がい者雇用促進事業：共生産業株式会社)

厚生労働大臣の許可を受けた当社グループの特例子会社である共生産業株式会社において、当社が保有する賃貸不動産内のテナント事務所の清掃や地元企業からの軽作業などの業務を請負っております。

当該子会社を通じて障がい者の雇用促進に努め、恒常的に法定雇用率を上回る水準を維持しております。

当第2四半期連結累計期間における売上高は15百万円（前年同期比0.9%増）、セグメント損失は5百万円（前年同期はセグメント利益2百万円）となりました。

(不動産賃貸事業：株式会社トラスト・テック)

神奈川県相模原市に保有する賃貸不動産の入居率は、従前どおり高い水準を維持いたしました。

当第2四半期連結累計期間における売上高は27百万円（前年同期と同額）、セグメント利益は7百万円（前年同期比3.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債・純資産

(資産)

流動資産の残高は、5,138百万円（前連結会計年度末は5,283百万円）となり、144百万円減少いたしました。

主たる変動項目は、現金及び預金（前連結会計年度末比52百万円減）、受取手形及び売掛金（前連結会計年度末比23百万円増）、その他（前連結会計年度比115百万円減）です。

固定資産の残高は、1,185百万円（前連結会計年度末は1,172百万円）となり、13百万円増加いたしました。

主たる変動項目は、有形固定資産（前連結会計年度末比49百万円増）、無形固定資産（前連結会計年度末比17百万円減）、投資その他の資産（前連結会計年度末比18百万円減）です。

この結果、資産合計は、6,324百万円（前連結会計年度末は6,455百万円）となり、131百万円減少いたしました。

(負債)

流動負債の残高は、2,294百万円（前連結会計年度末は2,584百万円）となり、289百万円減少いたしました。

主たる変動項目は、未払費用（前連結会計年度末比45百万円減）、未払法人税等（前連結会計年度末比257百万円減）、未払消費税等（前連結会計年度末比37百万円増）、賞与引当金（前連結会計年度末比17百万円増）、その他（前連結会計年度末比41百万円減）です。

固定負債の残高は、34百万円（前連結会計年度末は38百万円）となり、3百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は2,329百万円（前連結会計年度末は2,622百万円）となり、293百万円減少いたしました。

(純資産)

純資産は3,994百万円（前連結会計年度末は3,832百万円）となり、161百万円増加いたしました。

主たる変動項目は、利益剰余金の四半期純利益（423百万円）による増加と前期末配当金（286百万円）の支払いによる減少、ストック・オプション行使（23百万円）による資本金及び資本準備金の増加です。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ52百万円減少し、2,377百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とその要因は、以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は341百万円（前年同期は243百万円の獲得）となりました。収入の主な要因は、税金等調整前四半期純利益664百万円です。支出の主な要因は、法人税等の支払額357百万円です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、134百万円（前年同期は25百万円の使用）となりました。支出の主な要因は、有形固定資産の取得による支出86百万円、無形固定資産の取得による支出62百万円です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、267百万円（前年同期は289百万円の使用）となりました。主な支出は、配当金の支払額286百万円です。収入の要因は、ストック・オプションの行使による収入の23百万円です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年8月8日発表の通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,429,972	2,377,235
受取手形及び売掛金	2,388,728	2,412,307
その他	464,660	348,927
流動資産合計	5,283,361	5,138,471
固定資産		
有形固定資産	193,996	243,007
無形固定資産		
その他	145,318	127,880
無形固定資産合計	145,318	127,880
投資その他の資産		
投資不動産(純額)	584,262	581,116
その他	248,479	233,598
投資その他の資産合計	832,742	814,714
固定資産合計	1,172,057	1,185,603
資産合計	6,455,419	6,324,074
負債の部		
流動負債		
未払費用	1,447,564	1,402,297
未払法人税等	356,055	98,301
未払消費税等	356,383	393,616
賞与引当金	134,734	152,186
その他	290,117	248,575
流動負債合計	2,584,855	2,294,977
固定負債		
退職給付に係る負債	5,854	6,057
その他	32,282	28,782
固定負債合計	38,137	34,840
負債合計	2,622,992	2,329,818
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,492,690	1,504,290
資本剰余金	650,175	661,775
利益剰余金	1,694,840	1,831,816
自己株式	△32	△32
株主資本合計	3,837,673	3,997,849
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2	20
為替換算調整勘定	△5,250	△3,613
その他の包括利益累計額合計	△5,247	△3,592
純資産合計	3,832,426	3,994,256
負債純資産合計	6,455,419	6,324,074

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)
売上高	8,420,065	9,918,260
売上原価	6,356,606	7,596,095
売上総利益	2,063,459	2,322,164
販売費及び一般管理費	1,438,987	1,667,072
営業利益	624,471	655,092
営業外収益		
受取利息	180	225
助成金収入	14,702	8,257
為替差益	1,844	6,055
その他	2,195	1,317
営業外収益合計	18,922	15,857
営業外費用		
支払利息	155	131
その他	87	6
営業外費用合計	243	138
経常利益	643,150	670,811
特別損失		
固定資産除却損	2,068	—
支払負担金	—	5,825
特別損失合計	2,068	5,825
税金等調整前四半期純利益	641,081	664,986
法人税、住民税及び事業税	174,807	102,167
法人税等調整額	79,320	139,088
法人税等合計	254,127	241,256
少数株主損益調整前四半期純利益	386,954	423,729
四半期純利益	386,954	423,729

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	386,954	423,729
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	17
為替換算調整勘定	△960	1,636
その他の包括利益合計	△960	1,654
四半期包括利益	385,993	425,384
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	385,993	425,384

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	641,081	664,986
減価償却費	32,087	41,578
のれん償却額	13,411	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	29,510	17,396
退職給付引当金の増減額(△は減少)	190	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	203
受取利息及び受取配当金	△180	△227
支払利息	155	131
売上債権の増減額(△は増加)	△103,420	△20,779
未払費用の増減額(△は減少)	△127,283	△45,267
その他	120,144	41,065
小計	605,698	699,087
利息及び配当金の受取額	180	225
利息の支払額	△155	△131
法人税等の支払額	△362,525	△357,506
営業活動によるキャッシュ・フロー	243,196	341,675
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△14,803	△86,055
無形固定資産の取得による支出	△4,835	△62,977
敷金及び保証金の増減額(△は増加)	△6,788	14,912
その他	1,180	△180
投資活動によるキャッシュ・フロー	△25,247	△134,299
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△4,549	△3,509
配当金の支払額	△284,601	△286,996
その他	△32	23,200
財務活動によるキャッシュ・フロー	△289,184	△267,306
現金及び現金同等物に係る換算差額	659	7,194
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△70,575	△52,736
現金及び現金同等物の期首残高	2,175,813	2,429,972
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,105,238	2,377,235

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年7月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	技術者派遣・請負・委託事業	製造請負・受託・派遣事業	障がい者雇用促進事業	不動産賃貸事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,526,043	3,863,111	4,440	26,470	8,420,065	—	8,420,065
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	10,807	924	11,731	△11,731	—
計	4,526,043	3,863,111	15,247	27,394	8,431,797	△11,731	8,420,065
セグメント利益	487,862	145,027	2,115	8,145	643,150	—	643,150

(注) 1 売上高の調整額は、セグメント間取引であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年7月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	技術者派遣・請負・委託事業	製造請負・受託・派遣事業	障がい者雇用促進事業	不動産賃貸事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,790,806	4,096,438	4,544	26,470	9,918,260	—	9,918,260
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	10,843	924	11,767	△11,767	—
計	5,790,806	4,096,438	15,388	27,394	9,930,028	△11,767	9,918,260
セグメント利益又は損失(△)	560,424	108,429	△5,874	7,831	670,811	—	670,811

(注) 1 売上高の調整額は、セグメント間取引であります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。